

町 立金山診療所 4月からの医師が交代
鈴木先生から瀬尾先生に



瀬尾恭一先生

＝プロフィール＝

山形県鶴岡市出身

平成21年3月 自治医科大学卒業

同年4月～23年3月 山形県立中央病院初期研修

23年4月～24年3月 白鷹町立病院外科

24年4月～26年3月 山形県立中央病院脳神経外科研修

26年4月～27年3月 自治医科大学小児脳神経外科研修

27年4月～29年3月 朝日町立病院内科医長

専門医・認定医：日本脳神経外科学会専門医、プライマリ・ケア認定医

山形県から派遣いただいている地域医療従事医師の人事異動により、鈴木有太先生は、4月1日付けで山形県立中央病院に転任されます。この1年間、当町の地域医療に大きなご貢献をいただき、心からの感謝と、今後の先生のご活躍を期待しています。

後任には、瀬尾恭一（せお きょういち）先生が同日付けで着任されます。瀬尾先生から、着任にあたってのメッセージをいただいておりますので紹介します。

「この度金山診療所に赴任しました瀬尾恭一です。専門分野は脳神経外科ですが、専門に関わらず身体の事に関しては何でもまずはお相談ください。町民の方の健康を守るべく、皆様が安心して受診できるような診療を行って参りますのでよろしくお願いいたします。」

瀬尾先生には、外科・内科・小児科を担当していただく予定です。どうぞよろしくお願いいたします。



政 策顧問の皆川芳嗣氏が講演
『金山町の夢を語る』

3月1日、金山町政策講演会・意見交換会が開催され、町政策顧問である皆川芳嗣氏が90名を超す出席者の前で熱弁をふるわれました。

農林水産事務次官の経歴を持つ皆川氏。「人口は減少しているが集落数はあまり減っていない」と指摘し、「農林業が盛んな金山町。金山杉を使った金山住宅のような地域の付加価値を取り込んだ2次、3次産業を育てていくことが重要」と訴えました。第1次産業を活かした「価値の連鎖」が、これからの金山町の未来をつかっていくキーワードになりそうです。



住 み慣れた金山でいつまでも
在宅療養に関する講演会を開催

3月15日、上記講演会が開催され、約80名が、在宅療養において欠かせない支援の一つである「訪問看護」について理解を深めました。

「多くの方は生まれ育った地域や自宅で過ごしたいと願っている」。地域の実状を話すのは訪問看護ステーション新庄の柿崎由美子所長。続けて「訪問看護の対象制限はそんなに厳しくない。相談だけでもしてほしい」と気軽な利用を促していました。実際に介護を行っている方の生の声を聞くこともでき、在宅療養について考える良い機会となりました。